

令和6年度

学 校 経 営 方 針

昭島市立多摩辺中学校

校長 堀田 典子

私たちの使命は、教育目標の達成に向けた日々の取り組みを通して、生徒一人一人に学問の素晴らしさ、スポーツの楽しさ、ハーモニーを奏でたり、作品を作ったりする喜びや感動を実感させるとともに、集団活動を通して責任感・協調性を育て、健全な心身のバランスのとれた人間形成を目指すことです。そのために生徒への愛情、教育への情熱をもち、チーム「多摩辺」として保護者や地域の方々の願いや期待に応えながら信頼される学校作り、支え合い、高め合える集団作りに努めます。

1 教育目標

- 進んで勉強しよう
- 思いやりのある人になろう
- 進んで心身をきたえよう

2 目指す学校像

- (1) 生徒が安心して通い、学び合い、自己実現できる学校
- (2) 個性と能力を伸ばし、将来の夢や希望を育む学校
- (3) 保護者・地域と連携を図り、信頼される学校

3 目指す生徒像

- (1) 主体的に学び、粘り強く取り組む生徒
- (2) 仲間を大切にし、集団としての規律が守れる生徒
- (3) 自ら努力し、己を鍛える生徒

4 目指す教師像

- (1) 生徒一人一人の良さを認め、厳しさと愛情を注げる教師
- (2) 自己研鑽に努め、組織の一員として力を発揮できる教師
- (3) 豊かな人間性を備え、生徒・保護者・地域から信頼される教師

5 学校経営の基本的な考えと取り組み

(1) 確かな学力の形成

個別最適な学びと協働的学びの実現

- ① 日々の授業において、基礎・基本の定着と主体的・対話的で深い学び、協働的に学ぶ姿勢を育てる。
- ② 数学・英語での習熟度・少人数を考慮した授業を展開し、個に応じた指導を充実させる。
- ③ 年2回の授業評価を行い、指導法の工夫・改善や学ぶ意欲の向上に活かす。
- ④ 質問教室・補習教室等の充実、学習コンクールの取組等、生徒の学習意欲を高めながら計画的に実施する。
- ⑤ 各教科で家庭学習の定着を目指し、学習量を鑑みながら適切な課題を出していく。
- ⑥ 朝学活前の10分間で朝読書を実施し、豊かな感性や情緒を育み、活字に親しむ時間を設ける。

(2) 生徒指導の組織的な対応による規範意識の育成

いじめ、暴力を決して許さない指導とともに、深い生徒理解の上に立ち、厳しくも温かい指導を目指し、

教育相談的手法も取り入れていく。また、規範意識を高め、社会の一員としての自覚をもつ生徒を育てる。

- ①指導方針、指導内容の共通理解の下、共通実践を行い、学校全体で組織的に指導を行う。
- ②1年生の全員面接の実施や三者面談により、生徒理解を深め、何かあった時に相談できる学校づくりを行う。
- ③学級満足度調査の分析を踏まえた学級経営を行い、問題行動の予防・早期発見を図る。
- ④特別支援教育コーディネーターを中心に配慮を要する生徒についての共通理解を徹底する。
また、特別な支援を必要とする生徒や精神面で不安定な生徒への対応や指導の在り方について、研修を深める。
- ⑤不登校対応コーディネーターを中心にカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、支援員と協力して、各学年、担任とともに不登校生徒への登校支援を行う。
- ⑥昭島市教育委員会、昭島警察少年係、児童相談所、子ども家庭支援センター、保護司、民生児童委員や医療機関等との連携を図り、生徒の健全育成に努める。（虐待や自殺予防も含む）

（3）豊かな心とたくましい身体の育成

多様で豊かな体験（自他とのかかわり）を通して、自己有用感を高め、思いやりの心や勤労・責任を重んじる気持ち等、人間性豊かな心を育てる。

- ①職場体験や奉仕活動等、他者と協力し、達成感を味わえる体験活動や行事を行う。
- ②主体性が育つ生徒会活動、学年・学級活動を行う。
- ③特別支援学級と通常の学級との交流活動を通して、互いの良さを発揮できる取り組みを行い偏見や差別のない豊かな心を育む。
- ④校内美化活動や地域におけるボランティア活動への参加を促し、奉仕の心や地域への感謝の気持ちを育てる。
- ⑤認め、励まし、感謝する「勇気づけ言葉」を意識した実践を行う。
- ⑥保健体育の各校一取組では、継続的に行うことができる内容を工夫し、体力の向上に努める。

（4）夢を育て、進路を実現するキャリア教育

全ての生徒に自分にある可能性に気付かせ、自己の将来を切り拓く力を身に付けさせる。

- ①自己を知る学習とともに仕事（職業）に興味をもつ学習等、3年間を見通して、計画的に行う。
- ②生まれ育った地域の良さや歴史を学び、地域学習から広げる探求学習を推進する。
- ③正確な情報と丁寧できめ細やかな進路相談を基に、自らの将来の夢や適性に合った進路を選択する能力を育てる。

（5）特別支援教育体制・特別支援教室における個別支援の充実

不登校、問題行動、通常の学級における特別な支援の必要な生徒については、深い生徒理解の下に指導を行う。特に発達障害等の理解と指導方法については、特別支援教育の研修を充実させ、学校全体の専門性を高める。

- ①障がいの状況や教育的ニーズに応じて、検討・調整を行い、可能な限りの合理的配慮を行う。
- ②巡回指導教員や心理士との情報交換を密に行い、生徒一人一人の課題解決に努める。
- ③支援委員会（校内委員会）を定期的に開催し、生徒の適正な就学を検討する。
- ④特別支援教室と通常の学級とが常に連携し、生徒に必要な教育支援を充実させる。

（6）校内研修の充実および教員の専門性の向上

授業力向上アドバイザー事業における授業改善をはじめ、生徒理解研修、特別支援教育等の研修を通して高め合う教員集団をつくる。

- ①昨年度までの成果を生かし、さらに「学びの姿勢が高まる授業づくり」を目指し、計画的に研究授業を行う。
- ②若手教員については、校内研修を実施し、現場のベテラン教員の体験や実践を学び、自身の教育活

動に活かす。

(7) 安全管理と施設の環境整備

生徒の安全を第一に常に危機管理に努める。また、生徒の学習環境を整える。

- ①生徒の安全確保に配慮し、施設設備の適切な管理のための安全点検・管理に努める。
- ②外部の講師を招き、薬物乱用防止や情報モラル、犯罪防止について学ぶ機会を設ける。
- ③毎月、安全指導日を設け、事故防止、防災意識への高揚を図る。
- ④清掃活動を充実させ、校内美化への意識を高める。

6 令和6年度の指導重点

【教科・領域等の指導】

(1) 教科指導

- ①指導の個別化と学習の個性化を大切に、基礎基本の定着を図る指導方法の工夫と改善
- ②言語活動の充実を通して、多様な能力育成を図る指導法の開発
 - ◎課題解決に向けた主体的・協働的に学ぶ学習の実践
 - ◎記録や要約、発表等の活動、見方、考え方を身に付けさせる指導の充実
- ③指導と評価の一体化、適切な評価材の設定（適正で信頼される評価）
- ④ICT機器を効果的に活用した指導方法の工夫と改善
- ⑤ALT との連携、ESAT-J、TGG 等の外国語体験を活用した、外国語によるコミュニケーション能力の育成
- ⑥ユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れたわかる授業の実践
 - ◎7月、12月に実施する生徒による授業評価の分析を踏まえた授業改善の推進

(2) 道徳教育

- ①教科書を主たる教材として、発問を工夫した考えが深まる道徳授業の実践
 - ◎22項目の道徳内容、35回の授業数の確保
- ②主体的に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に捉え、「考え・議論する道徳」授業の実践
- ③全教育活動を通じた人間としての生き方を深める実践

(3) 総合的な学習の時間

- ①生徒が考える課題設定、課題解決に挑む資質・能力の育成
- ②図書室や ICT 機器等を活用した調べ学習の充実
- ③豊かな人間性と社会性を養う体験学習の充実

(4) 特別活動

- ①主体性・協働性を伸長する生徒会活動の推進
- ②自主自律を促す生徒による行事の運営、生徒主導で動ける体制づくり
- ③部活動の適切な運営、及び活動の活性化

【生活指導】

(1) 規範意識の育成を図り、落ち着いた学校生活の確立

- ①全ての生徒が安心して生活できる環境を作るための組織的指導の実践
- ②いじめを許さない学校づくりのための早期発見・早期対応と未然防止への実践
- ③自治能力の育成を図る生徒会活動の充実
- ④自尊感情と自己有用感の高揚を図る生徒一人一人への組織的支援

(2) 組織的指導に基づく基本的生活習慣の確立

- ①自ら挨拶のできる生徒、自ら時間の守れる生徒の育成

②集団生活の基本的ルール(人権侵害・暴力等)における毅然たる指導

③正義の通る集団、指示の通る集団作り

(3) 教育相談体制

①カウンセリングマインドに基づく生徒一人一人へのきめ細やかで適切な対応

②SC・SSW、外部の関係諸機関との積極的な連携

(4) 保護者・地域との協働

①奉仕活動・地域行事等への積極的な参加

②家庭・地域に向けた学校理解を促進する広報活動、交流活動の推進

【進路指導】

(1) 将来の生き方を考える指導の工夫と改善

①主体的に将来の生き方を考える指導の工夫と改善

②自身の変容や成長を自己評価する学習活動の充実(キャリアパスポートの活用)

③一貫性のある組織的進路指導の確立

(2) 進路選択能力の育成

①3年間を見通した系統的な指導による望ましい職業観・勤労観の育成

◎1 年次: 自己を知る 職業調べ

◎2 年次: 職場体験 上級学校調べ

◎3 年次: 高校の先生の話聴く会 上級学校訪問

②卒業後の円滑な進路選択に向けた情報整理と生徒に主体的に進路を考えさせる指導の充実

◎進路保護者説明会、進路面談

(3) 主体的に生きる基盤となる学力向上

①質問教室(定期テスト前)、長期休業中の補充的学習の充実

②長期休業明けの確認テストの実施と結果に応じた個別の学習支援

【健康・安全・食育指導】

(1) 体育的活動における事故防止

①保健体育授業・部活動における事故の予見(WBGT計測等)、不適切な指導の根絶

②施設・備品の適正な管理点検による事故の未然防止

③事故発生時の的確な判断、迅速・適切な対応

(2) 学校内外での事件・事故防止

①事故防止に向けた安全教育の徹底

②被害防止に向けた予防指導の推進

③SNS による犯罪、個人情報情報の情報流出防止に関する指導および教育の徹底

(3) 防災教育

①様々な場面を設定した避難訓練による「命を守る力」の育成(月1回実施)

②地域と連携した校内防災体制の整備(災害発生時、避難所開設時)

(4) 保健管理・保健指導

①保健計画に基づく適正な指導の実践

②定期健康診断の結果等を活用した健康教育の推進

③毎日の健康観察と感染症等、疾病に対する関係諸機関との円滑な連携

(5) 食物アレルギー対応・食育

- ①食物アレルギーのある生徒の把握と個別対応の十分な確認による事故防止の徹底
- ②緊急（アナフィラキシーショック発生）時の迅速な対応
- ③食への感謝とマナーの育成を図る給食指導
- ④望ましい食習慣、食生活を向上させる指導の工夫・改善

【特別支援教育】

(1) 生徒一人一人に対して、適切な指導及び必要な支援についての実践

- ①多様な学びの場の整備
- ②学校生活支援シート、個別指導計画、連携型個別指導計画の作成及び実践と検証
- ③特別支援学級（8組）及び特別支援教室（しらさぎ教室）の個別のニーズに応じた支援と可能な限りの合理的配慮
- ④支援員を活用した個別の対応

(2) 「様々な人が生き生きと活躍できる共生社会の形成」の基礎となる実践

- ①通常の学級と8組（特別支援学級）の交流活動の推進
- ②特別支援教育啓発授業の実施
- ③互いの良さを認め合える集団作り

(3) SC・SSWや外部機関と連携した支援体制の構築

- ①保護者、家庭の支援も視野に入れた外部機関との連携

【研修・研究】

(1) 授業力の向上

- ①研修担当の企画による授業力向上アドバイザー事業の研究の推進
- ②管理職による授業観察（最低年2回：1学期、2学期）
- ③専門性を向上させる研修への参加（最低年1回以上）
- ④指導教諭の模範授業を活用したOJTの実施
- ⑤「UDの視点」「話し合い活動」「生徒の主体的・協働的な活動」等を大切に授業実践

(2) 校内別室対応支援員の活用

- ①校内別室対応支援員を活用した学習支援・対応の実施
- ②実践の効果検証（報告会の実施）
- ③「居場所づくり」の充実、「絆づくり」を意識した教育活動の推進

【サービスの厳正】

(1) 教育公務員および全体の奉仕者としての立場の自覚

(2) 体罰、交通事故、わいせつ行為、不適切な指導等、信用失墜行為の禁止

(3) 個人情報管理、会計管理の徹底と適正な事務処理

7 アンケート結果等を踏まえた教育計画の改善

校内の自己評価、保護者の評価、生徒の授業評価、学校運営協議会による学校評価等を実施し、その分析結果を活かし、教育活動の改善を図る。

(1) 生徒による授業評価アンケート

7月の結果を踏まえ、授業改善推進プランを作成・実施し、12月に検証と授業改善を実施
「4・はい」の回答目標

質 問 項 目	到達目標	結果
先生は、授業の目標、1時間の流れを伝えてくれていますか。	80%	72.1%
先生は、授業のまとめ、振り返りをしてくれていますか。	60%	56.3%
先生の授業に興味・関心をもって取り組んでいますか。	70%	61.2%
先生の授業は、わかりやすいですか。	70%	62.2%
授業で、わかった、できたという達成感、満足感がありますか。	60%	60.3%
先生は、生徒の「考え」「活動」「頑張り」を認めてくれていますか。	70%	68.9%
先生は、評価の仕方について説明してくれていますか。	60%	69.4%

(2) 生活自己評価アンケート

7月の結果を踏まえ、進路学習部・生活指導部で改善案を作成・実施、12月に検証と改善を実施
「4・はい」の回答目標

質 問 項 目	到達目標	昨年の12月の結果
普段の家庭学習時間は、平均3時間以上である	10%	1年 2.2%、2年 3.5%、3年 19.3%、全体 8.1%
普段の家庭学習時間は、平均2～3時間未満である。	20%	1年 4.4%、2年 12.8%、3年 27.7%、全体 14.6%
普段の家庭学習時間は、平均1～2時間未満である。	30%	1年 26.4%、2年 22.1%、3年 27.7%、全体 25.4%
自分や友達を大切にしていますか。	70%	1年 57.1%、2年 50.0%、3年 61.4%、全体 56.2%
学校で落ち着いて安心して生活できていますか。	70%	1年 59.3%、2年 50.0%、3年 60.2%、全体 56.5%
困ったことがあったら、相談してみようと思う大人はいますか。(4・2人以上いる)	75%	1年 69.2%、2年 74.4%、3年 65.1%、全体 69.6%